

令和4年度(2022年度)
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉佐野商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 金野 泰之
	所在地	〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号
	職・氏名	中小企業相談所長 永田一夫
	担当者	連絡先
	TEL(直通):	072-462-3128
	Fax:	072-463-8780
	E-mail:	info@izumisano-cci.or.jp
①設立年月日	昭和25年12月9日	
②職員数 (うち経営指導員数)	12名(経営指導員7名) (令和5年3月31日現在)	
③所管地域	大阪府泉佐野市・泉南郡田尻町	
④管内事業所数	5,082件(平成28年度経済センサス)	
⑤管内小規模事業者数	3,226件(平成28年度経済センサス)	
⑥会員数(組織率)	1,144件(令和5年3月31日現在)	
	※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
□主な事業概要(定款記載事項等)		
1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 3. 商工業に関する調査研究を行うこと。 4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。 6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。 9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。		

2. 事業概要

泉佐野商工会議所

(1) 事業の目標

新型コロナウイルス感染症が初めて報じられてから2年が経過し、私たちの生活環境と経済活動に甚大な被害をもたらし、大きく経済活動が落ち込んだ。重ねて原材料費や燃料費の高騰、輸送コストの上昇、円安など様々な要因で厳しい経営環境を強いられている状況にある。経営相談事業では、資金繰り、雇用関係、各種補助金の申請をはじめ、今後の事業展開を再検討するための事業計画策定支援や事業承継・デジタル化対応等、多岐にわたる課題について、経営状況をきめ細かく把握し、提案・各種支援メニューによる支援や専門家等の活用により、早期の課題解決に務め、満足度を高める。地域活性化事業では雇用対策と人材育成の強化や生産性の向上・働き方改革の推進に関するセミナーの開催や新しい生活様式を取り入れた地域経済社会を実現する観点から、IT活用販路開拓支援や新たな資金調達の方法である「クラウドファンディング」セミナーや「BCPの普及・策定」支援、企業の持続可能な成長のためのSDGsセミナー等を開催する。関西国際空港直近に位置する商工会議所として、商工業のPRや新たな顧客・市場開拓に繋がる事業を実施する。また消費者の行動パターンが大きく変化する中、時代の変化に柔軟に対応できるように、支援に取り組む。女性固有の経営課題・起業課題への対応や創業希望者へのサポート等により、地域経済の活性化を図る。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- ・経営相談支援事業では、巡回・窓口相談を通じて、経営環境が厳しい小規模事業者の資金繰りや財務分析支援を行った。資金調達においては、金融支援や金融紹介支援で対応。また強みを活かし、経営環境の変化に対応できるように、事業計画支援にて対応力の強化を行った。インボイス制度のスタートを直近に控え制度への対応方法等、経営体質強化に向けて個別に対応を行った。
- ・地域活性化事業では、人材確保・定着支援として若年者・中高年齢者のマッチングの場を提供する「就職フェア」や様々な要因を抱えているため雇用・就労を実現できない方を対象とした「就労支援フェア」を開催した。また多様性企業の第一歩を踏み出す「障がい者雇用に関するセミナー」やパワハラ防止法についての理解を促す「パワハラ防止対策セミナー」を開催した。
- ・生活スタイルの変化への対応では、コロナ禍の中、新たな商品開発やサービスの提供等で、新しい取り組みを実施するために活用を促す「クラウドファンディング活用セミナー」を開催した。
- ・ものづくりに対する関心を高めるために、「商工フェアIN泉佐野」において、大阪府技能士会連合会との連携により「ものづくり体験教室」を開催した。
- ・市内の消費喚起に寄与するために「泉佐野グルメガイド（ナイトマップ）」事業を実施した。
- ・創業支援では、優れたビジネスアイデアを持つ創業希望者や創業者の発掘とその支援のため、創業塾を開催し、また近年、若い女性の経営相談が増えてきていることから、女性起業家支援事業を実施した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業では、事業計画策定支援をベースに実施することで、概ね相談回数や時間が増加すると共に、新しい展開を考えることで、自社の強みの活かし方等を検討することができた。また本年10月からスタートするインボイス制度への対応等により、記帳支援が増加した。経営環境が厳しい中、資金繰り支援や金融支援により、経営の安全性を確保する一助となった。専門相談事業では、法律・税務・労務・知財にわたり、迅速な課題解決に繋げることができたことで、満足度は概ね高かった。地域活性化事業については、IT活用による販路開拓支援事業により新たな事業を展開する契機となった。女性起業家支援ネットワークの推進事業では、「今後のビジネスをもう一段ステップアップしたい」、「新たな視点を見つけることができた」といった声もあり、今後の飛躍が期待できる内容であった。人材確保・定着の事業では、就職フェア等の開催や人材育成事業の実施により企業の組織基盤の強化に繋がった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- ・「生産性向上」「業務効率化」は、これまで以上に重要課題となっているため、小規模事業者への更なる情報提供の重要性が増している。
- ・カルテ化に結び付かないIT相談が増加傾向にあり、これをいかにしてカルテ化へ導く指導ができるかが課題である。
- ・「商工フェアIN泉佐野」や「就職フェア」の開催については、会場スペースに限りがあり、毎年参加したいという事業者の要望に応えることが難しくなっている。
- ・専門相談事業では、税務相談や労務相談では法改正があった時は利用が増えるが、そうでないときは利用が少なくなるため、効果的なPRが課題である。

(5) 次年度の取り組み

- ・小規模事業者にとって、インボイス制度への対応は、まだまだ不十分であり、更なる支援が必要である。
- ・相談件数は昨年とあまり変わらないが、相談内容が濃くなっているため、対応する回数や時間が長くなっており、迅速な対応が厳しくなっている。
- ・地域の飲食業の支援として一定の役割を果たしてきたが、さらに消費者へ広くPRを進めることが、重要課題である。
- ・小規模事業者のIT導入については、対応ができていない事業所とまったく対応ができていない事業所のひらきがあり、特に高齢化している経営者では、その遅れが目立っているため、経営者への意識の啓発と積極的なニーズの把握が必要である。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉佐野商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

新型コロナウイルスの影響により、客足が戻るまで、時間がかかる中、又材料の高騰や諸経費の値上がりもあり、大きく経営を圧迫している。そのため資金繰りの改善に対する相談が増加し、借り換え等の金融支援を行った。また一部には、設備投資による売上増を見込む動きもみられた。そんな中、事業の再構築や新分野への進出などの関心が高く、計画策定までには至らなくとも、何か新しいことをしたいという意欲の高さが伺えた。またコロナ禍の逆風の中ではあるが、創業への熱い情熱を持ち続けている方もおられ、リスクを抑えて順調な立ち上げを行えるように支援を実施。売上の改善が遅れる中、キャッシュフローの健全化のためにも、現在の財務状況を把握し、コスト削減による経営改善に務めた。またインボイス制度のスタートが迫っている中、同制度についての相談や持続化補助金のインボイス枠等についての相談が増加し、次年度へ支援を繋ぐことになった。

<支援の代表事例>A社

建築資材の販売。新型コロナウイルスの影響を受け、売上が大きく落ち込んだ。直近の二期分の財務諸表も悪化傾向が拡大していたが、民間金融機関と公的金融機関との連携により、現在、残高がある2本のマル経融資の借り換えで一本化できれば、返済に余裕が生まれる効果が期待できた。そこで金融支援にて借換融資を実行し、その後の民間金融機関からの反復利用が可能となり、資金繰りが改善しコロナ禍を耐え、事業の回復に期待が持てるようになった。

	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	234	257	109.8%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	21	8	38.1%	3
金融支援（紹介型）	支援数	20	21	105.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	45	54	120.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	1	33.3%	3
資金繰り計画作成支援	事業所	40	37	92.5%	5
記帳支援	事業所	60	65	108.3%	5
労務支援	支援数	50	53	106.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		0
マーケティング力向上支援	事業所	0	1		5
販路開拓支援	支援数	30	7	23.3%	3
事業計画作成支援	支援数	42	40	95.2%	5
創業支援	事業所	7	10	142.9%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	0	0.0%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	25	30	120.0%	5
財務分析支援	事業所	45	41	91.1%	5
5S支援	事業所	0	0		0
IT化支援	事業所	7	2	28.6%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		0
事業承継支援	事業所	10	3	30.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0		0
フォローアップ支援	事業所	41	3	7.3%	3
結果報告	事業所	176	208	118.2%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

経営課題について、早期の解決を目指すために、経営指導員が経営課題についての的確に把握した上で、専門家と繋ぐことを心掛けており、満足度アップに繋がっている。法律相談や労務相談、知財相談など、専門性の高い問題解決に向けて支援を行った。また税務相談では、税理士会との連携により、所得税・消費税の確定申告の相談やインボイス制度への対応方法等について、その他相続や不動産関連の課題解決を図った。知財相談では、商標出願や特許出願についての課題解決が多かった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	相談者数	10	15	150.0%	5
税務相談	継続	相談者数	12	27	225.0%	5
労務相談	継続	相談者数	4	3	75.0%	5
知財相談	継続	相談者数	4	13	325.0%	5

4. 地域活性化事業 泉佐野商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

●雇用対策と人材育成強化
 「就職フェア」の開催により若年・中高年齢者の人材を求める中小企業と働く意欲のある求職者を結び、お互いの理解を深めることできた。
 「就労支援フェア」では、様々な事情を抱える就職困難者の方と企業ニーズを結び付け、雇用促進を図ることができた。
 「障がい者雇用に関するセミナー」では支援施策に関する情報提供や事例発表を通じ、多様な企業への一歩を踏み出した。
 「ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー」では、若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行うにあたって必要なスキルを習得し、企業の組織基盤の強化に繋がった。
 「ハラスメント防止対策セミナー」では、中小事業主もパワハラ防止法が義務化されたため、防止対策や防止に向けた手順等について学び、対策を怠った場合のリスクに備えることができた。

●ものづくり人材
 「商工フェアIN泉佐野」では、ものづくり体験教室等を通じて、若者にモノづくり体験の機会を提供し、次世代の事業者育成のきっかけとなった。

●IT活用販路開拓事業
 WebやSNS等を用いての販路開拓を推進する講座により、広告費を抑えたい事業者の方、新しい店舗集客のやり方を模索している方が、気軽に一歩を踏み出した。
 「クラウドファンディング活用セミナー」では、クラウドファンディングで新商品の開発や新サービス実現にも活用できることを認識頂き、その活用促進を図った。
 「魅せる写真撮影セミナー」では、WebやSNSに掲載する写真を魅力的に撮影し、商品紹介やサービスPRを効果的に行うスキルを身に付け、広報としての質の向上が見込まれる。

●BCP策定支援事業
 「BCP普及啓発セミナー」では、今後の本格的なBCP策定に向けて、平時より緊急時の事業継続のための方法等を取り決めておくことが、普及啓発が進んだ。

●飲食店支援事業
 「泉佐野グルメガイド(ナイトマップ)」では、店舗の知名度向上を目指してガイドブックの作成を行い、新型コロナウイルスの影響により客足が完全にもどっていない中、宣伝効果を高めることができた。

●創業支援事業
 「創業支援連続講座事業」では、事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し、創業準備をイメージできるようになったことで、総合的な地域の活性化に繋がった。

●女性起業家支援
 「女性起業家支援ネットワークの推進事業」では、マーケットの深堀やアイデア、ビジネスを成長させるためのヒントを得ることができ、モチベーションアップに繋がった。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標			事業評価	
		計画	実績			項目	目標値	実績		達成率
○	商工フェアIN泉佐野	35	26	74.3%	88.4	自社製品のPRに繋がった企業の割合	80%	76.9%	96.1%	5
	泉佐野グルメガイド(ナイトマップ)	50	37	74.0%	73.0	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合	70%	32.4%	46.3%	5
○	就労支援フェア(高齢者雇用促進フェア)	15	15	100.0%	62.6	採用に結び付いた企業の割合	50%	13.3%	26.6%	4
○	創業支援連続講座事業	15	6	40.0%	100	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合	50%	66.7%	133.4%	4
○	女性起業家支援ネットワークの推進事業	15	24	160.0%	95.8	経営の悩みを相談できる仲間をつくることのできた割	70%	66.7%	95.3%	5
○	クラウドファンディング活用セミナー	20	6	30.0%	85.7	クラウドファンディングについて理解が深まった事業所の割合	70%	88.5%	126.4%	3
	魅せる写真撮影セミナー	20	8.5	42.5%	100	習得した知識や技術を広報で活用できると感じた事業所の割合	50%	100%	200.0%	4

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標			事業評価	
		計画	実績			項目	目標値	実績		達成率
○	就職フェア(合同就職面接会)	35	40	114.3%	32.5	若年者等との面談ができた事業所の割合	70%	35.0%	50.0%	5
	IT活用販路開拓支援事業	20	17.5	87.5%	83.3	ITを用いた販路開拓の方法について理解が深まった事業所の割合	70%	100%	142.9%	5
○	障がい者雇用に関するセミナー	15	9	60.0%	66.7	障害者雇用に対して取組み意識が向上した割合	70%	77.8%	111.1%	4
○	BCP普及啓発セミナー	20	13	65.0%	92.3	事業継続力強化計画等を策定した事業所数	20	13	65.0%	5
	ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー	24	23	95.8%	93.8	ビジネスコミュニケーション能力が向上したと感じる企業の割合	70%	84.4%	120.6%	5
○	ハラスメント防止対策セミナー	20	11.5	57.5%	93.3	ハラスメント防止対策について理解が深まった事業所の割合	70%	100.0%	142.9%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調査の記載と合わせてください。

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		商工フェアIN泉佐野	
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し、販路拡大に繋げる必要がある。そこで本事業では、PRの場として物産展を開催し、製品の試用や体験により、よりインパクトのあるPRを可能とし、出展を通じて、出展スキルを身に付けることから、他の展示会への参加意欲を高め、販路拡大の機会を広めることができる。また同時開催イベントとして「ものづくり体験教室」を開催。「ものづくり」に対する関心を高め、次世代の事業者育成のきっかけとなる場を提供する。また地元グルメの披露を行い、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくる。「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていくと共に、地域に「商工のお祭り」を根づかせることで、参加される方々の様々な出会いにより、異業種の垣根を越えた関係づくり、地域をさらに盛り上げたいという気運を高め、地域活性化に繋げる。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町の商工業者35社の参加を想定	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>・開催日時 令和4年9月25日(日) AM11:00~PM4:00</p> <p>・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場 他</p> <p>・実施内容 泉佐野周辺地域の事業所が、地域住民に対し「自社商品や製品の紹介」やお客様の「生の声を聞く」場として活用。地域住民においては、市内事業所や地場産業を知る機会となった。わがまち泉佐野の「誇れる事業所」を認識することで「事業所と市民」との共生意識の促進を図ることができた。出店事業者からの協力を経て、地場産品の抽選会を紹介。</p> <p>・来場者数 5,000人</p> <p>●「展示・販売・飲食等」</p> <p>①「商品・地場産業展示コーナー」・・・26社(専門相談コーナーを含む)</p> <p>②「商品の販売・飲食コーナー」・・・16社</p> <p>③「地域の団体等のコーナー」・・・7団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部等)</p> <p>●「ものづくり教室」</p> <p>①「大阪府技能士連合会」</p> <p>・大阪府印章技能士会による「石のはんこづくり教室」 40名(9月25日(日))</p> <p>・大阪府調理技能士会による「プロによるだし巻きのコツ料理教室」 45名(9月25日(日))</p> <p>②「泉州タオル染色・体験教室」(9月25日(日))</p> <p>・内 容 「世界にひとつだけの タオル体験学習」(ダイワタオル協同組合他 協力指導)</p> <p>・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター</p> <p>・参加者 72名</p> <p>③「泥めんこをつくって遊ぼう」</p> <p>・内 容 手作りの泥めんこを手作業で作って遊ぶ</p> <p>・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの</p> <p>・講 師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ</p> <p>・参加者 88名</p> <p>●「ステージショー」・・・「あわ踊り」「バトントワリング」「キャラクターショー」「フラダンス」「フルートアンサンブル」「ピアノとカフオーンの演奏」他</p>	
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	大阪府人材育成課並びに大阪府技能士連合会と事業内容等、情報交換を行い、技能士会による「ものづくり教室」(大阪府印章技能士会・大阪府調理技能士会)を開催。
	②広域連携		
	③市町村連携	泉佐野市の町会及び田尻町報を通じてPR活動に協力を得た。又情報交換等によりスムーズにすすめることができた。	
	④相談相乗	現状ではカルテ化はなかったが、情報提供を通じて販路支援に繋げる。	

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	74.3%	満足率	88.4%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・新型コロナウイルス感染症の影響で今まで開催することが出来なかったが、ようやく4回目の開催をすることが出来た。来場者数は5000人を超え、地域イベントとして根付きつつある。出展者からは、「自社商品のPRに繋がった」「会社・商品の知名度をアップすることができた」「予想以上に多くの人に来てもらうことができた」等の感想を頂き、今後の販路の拡大へ向けての意欲を高めることができた。								
		代表指標	自社製品のPRに繋がった企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	76.9%	目標達成度	96.1%			
	成果の代表事例	・約3年ぶりに開催したことで、多くの子供や女性の方に来場してもらうことが出来た。 ・回を重ねるごとに、参加者のディスプレイ等に創意工夫が見られ、来場者へ情報が伝わりやすくなっている。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)	1575	目標値(実績)	2956	目標達成度	187.7%			
出店者の協力もあり、SNSやHP等でPRを行ったことで多くの人々が来場した。										
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか) ・予想以上に多くの来場者が来たため、抽選会場やお店への誘導が円滑に出来なかった。その為、今後はお店への誘導について改善していく必要がある。今年度はコロナ禍の関係もあり1日間の開催であったが、次年度は2日間の開催を検討している。									

泉佐野商工会議所

事業名		「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）								
想定する実施期間		H31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉佐野市・田尻町周辺の夜間営業を行っている飲食店をガイドマップ形式で作成を行った。売上上位の商品を掲載することでお店の効果的なPRに繋げること、店舗を掲載するにあたって改めて自店舗の経営の見直しに繋げるようにすることは、昨年と同様である。店舗の知名度向上を目指してガイドマップの作成を行い、新規顧客の増加へ繋げた。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店を中心に募集を行った。また、本所と泉佐野市で連携している「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク（泉佐野市内の飲食店約65店舗が加盟・全て南海本線泉佐野駅又は羽倉崎駅周辺の飲食店）において募集を行い50社を支援対象とした。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野市内の小規模店に対して募集を行い、泉佐野グルメガイド(ディナーマップ)を作成した。各店舗ごとに夜間営業時に売上の多い料理を紹介していくことで消費者側に印象の残る様なPRを広く行った。具体的には、銀行や観光案内所・市町村の関連団体等で冊子の配布を行い幅広い広報を行った。 本年度は担当者のスケジュールと各店舗の校正のスケジュールの折り合いが上手くいかず、予定していた時期に遅延が生じてしまった。 【手法・時期】 ①令和4年7・8・9月において掲載店舗募集（職員訪問、チラシ配布・会議所所報等にて案内） ②令和4年9・10・11月校正確認（各職員で参加店舗に確認） ③令和4年12月印刷 ④令和5年1月上旬より配布開始（参加店舗、銀行、ホテル、まちの活性課、市町村関連団体等に配架依頼） ④令和4年2月よりアンケート調査 【参加店舗】 45店舗 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞								
		①府施策連携								
		②広域連携								
		③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。							
		④相談相乗	担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘り下げ等行ったが繋がるものは出なかった。							
		計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	74.0%	満足度	73%
		目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げや来店客数が減少している中、新規顧客の獲得・自店の商品の強みを再認識・販路開拓への意識向上に繋がった。							
			代表指標	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合						
数値目標	70%		実績数値	32.4%	目標達成度	46.3%				
成果の代表事例	ガイドブックを持参されたグループ客が注文される際にガイドブックを開いて掲載されている商品を注文された。									
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年度と比較すると代表指数の実績数値は増加しているものの未だに数値目標を大きく下回っていた。コロナの影響はかなり落ち着いて来たが、飲食店全体として利用者が減っており、参加店舗にもその影響が出ていたと考えられる。しかし、実績数値やアンケートからガイドブックが少しずつ飲食店へ良い影響を与えていると考えられるので、ガイドブックの影響力を向上させる為にも、引き続き来年度も作成を実施していく。								

泉佐野商工会議所

事業名		就労支援フェア（高齢者雇用促進フェア）							
想定する実施期間		H25 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	終息していない新型コロナ禍また、厳しい雇用情勢の中、55歳以上の高齢者を対象に「高齢者雇用促進フェアを開催する。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめセミナー就労相談などを実施することにより、「高齢者」等の雇用促進を図る。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業者、又は、関西国際空港内、りんくうタウンの事業者等。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和5年1月21日(土) PM1:00～4:00 ・場 所 エブノ泉の森ホール2階 ・万節会。中高年齢者相談、障がい者就労相談、ハローワーク相談、シルバー人材センター相談。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府との連携「により、中高年齢者等相談コーナーへの専門家の派遣依頼ができ、相談が可能となった。						
②広域連携									
③市町村連携	泉佐野市との連携により、事業のPR活動及び当日のスタッフでの協力（市・広報、窓口）								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	62.6%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	15社の事業所より、正社員、契約社員、パートを含めて、202名の募集があり、その内3名が採用された。採用された方々は、事業者所でそれぞれの業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。事業所においても、仕事の効率アップにつながった。また、並行して、セミナー・相談コーナー・仕事説明会を開催した。ハローワークコーナー9名、就労相談1名、中高年齢者等就労相談6名、シルバー人材センター相談10名、障がい者就労相談コーナー8名、農業セミナー及び農業相談9名仕事説明会（㈱ドリームキャッチャー13名・㈱第一管財7名）職業適性診断コーナー9名							
	代表指標	採用に結びついた企業の割合							
	数値目標	50%	実績数値	13.3%	目標達成度	26.6%			
	成果の代表事例	A社では1名介護職員を採用することができた。またB社ではパートの方を2名採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	170	目標値(実績)	108	目標達成度	63.5%			
	新型コロナの感染者数が減少してきているが、まだ、終息までには至らないため中高年連の方々が、会場への来場を控えているため、減少している。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするか）	高齢者雇用促進フェアは（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方々が、雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んでいきたい。 大阪府、ハローワークとの情報や連絡を密にして、参加企業の求人とマッチした求人と求職者が参加できるよう努力していきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		創業支援連続講座事業							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 創業希望者が、創業に関する必要な知識を得て、専門家による客観的な批評と適切なアドバイスを受けることにより、「実現可能なビジネスプラン」が作成できるように、泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、泉佐野市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓等、事業経営の基本を学ぶセミナーを広域連携での実施とすることで、受講する機会を広く提供し、総合的な地域の活性化に繋がる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	起業を目指している方又は起業後、間もない方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>11月～12月の約1ヶ月間、トータル4日間の「創業セミナー」を開催した。独立開業を志す方や新たに事業を起こしたいと考えている方々を対象に、創業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の習得を目的として実践的、体系的に学んで頂いた。全ての講座を受講された方は、「特定創業支援事業を受けた者」とした。</p> <p>①第1回 11月15日(火) 18時30分～20時30分 (経営) 創業の心構え、事業計画の立て方など、創業を成功させるためのノウハウについて解説。 テーマ：1. 創業を成功させる経営 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 渡辺 税 氏 (中小企業診断士)</p> <p>②第2回 11月30日(水) 18時30分～20時30分 (販路開拓) (人材育成) 創業に役立つマーケティングや、儲かる会社、強い組織にするための人材活用術について解説した。 テーマ：1. お客様を取込む販売計画について 2. 労務管理と社員育成について 3. 社会保険と労働保険について 講師：1. 2 (株)ビジネスサポート 代表取締役 渡辺 税 氏 (中小企業診断士) 3. (社)全国労働保険事務組合連合会大阪支部 安住正八郎 氏 (社会保険労務士)</p> <p>③第3回 12月7日(水) 18時30分～20時30分 (財務) 経営に必須である資金繰りや決算等初期準備やランニングコスト、事業計画について解説した。 テーマ：1. 財務会計の基礎知識 2. ビジネスプランの作成指導 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 渡辺 税 氏 (中小企業診断士)</p> <p>④第4回 12月16日(金) 18時30分～20時30分 (経営) (販路開拓) (人材育成) (財務) ビジネスプランを発表して頂いた。色々な人の意見を聞いてブラッシュアップのキッカケとし、事業計画の見直すことが可能となった。 テーマ：1. 事業計画とプレゼンテーション 講師：(株)ビジネスサポート 代表取締役 渡辺 税 氏 (中小企業診断士)</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	事業手法	①府施策連携	中小企業支援室商業・サービス産業課新事業創造グループと連携						
	②広域連携								
	③市町村連携	泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市役所等の協力を得て、事業のPRを行い、参加者を募る。							
	④相談相乗	本事業終了後においても、創業の個別相談を行うことにより相乗効果を図る。							
事業全体の実績	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	40.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加者の内、創業への取組状況が不十分であった者が2名、取組んでいるが不十分なところがある者が2名、全くできていなかったものが2名の状況であったが、「創業開始について、期日を決めて着手する機会となった。」や「前向きに考えたい」との意識変化が生まれ、創業へのモチベーションが高まり、創業への課題解決への一助となった。							

目標達成度	代表指標	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合				
	数値目標	50%	実績数値	66.7%	目標達成度	133.4%
	成果の代表事例	創業への取組が全く出来ていなかった状況から、セミナー参加により、開業時期を設定することの重要性を認識された。また特定創業支援事業を受けたものとして、証明書の交付を受けることとなった。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー自体の満足度は高く、参加者はそれぞれの課題が明確で、その解決に向け前向きな姿勢で臨まれていた。そのため、事業を立ち上げるうえで、本格的な知識を吸収できる本セミナーは有効であると思われる。具体的に創業に向けて特定創業支援事業を受けたものとして、行政に証明書を発行依頼する方がおられた。一方で、創業セミナーへの問合せは少なく、参加のタイミングが合わないケースも見受けられた。セミナー案内開始時期から開催日時までの募集期間を長く設定し、参加機会の喪失を少なくする。				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		女性起業家支援ネットワークの推進事業							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	ビジネスアイデアを実現するには、どうしたらよいか。今のビジネスをさらにもう一段ステップアップ擦るには等の課題を抱えている方々が、同じ女性経営・女性起業家の方より体験談等を聞くことで、課題解決や新たな視点を得ることができる。また同じような想いを持つ仲間との交流の場を提供することで、一緒に学び、成長していくという環境を整えることができ、先輩の女性経営者や起業家とのネットワークを構築でき、適宜、経営の悩みを相談できる一生の仲間をつくることができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	女性経営者やこれから経営を引き継いでいく方や起業して間もない方、又は起業に興味をお持ちの女性の方、これからさらにステップアップしたい方等。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時 令和4年11月25日(金) PM1:00～4:00 場 所 泉佐野商工会議所 大阪産業局と連携し事業実施。 第一部では、基調講演として、飲食事業や不動産事業を行う会社を立ち上げられ、人気店へ成長させ、優しい経営の実現により、コロナウイルスの影響により大きな打撃を受けたものの、ピンチをチャンスに変える新規事業への取り組みにより、新商品を生み出すことに成功した女性起業家より、お話頂いた。またその後の質疑応答のコーナーでは、活発な質疑応答が行われ会場内に一体感が生まれた。第二部では、第5回LED関西ファイナリストより「先輩起業家の体験談から学ぶ」をテーマに、お話しい頂いた。第三部の交流会では、新しい出会いのきっかけを作るべく、各自会場内を所狭しと動き回り、積極的な交流が繰り広げられ、時間が足りない状況であった。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(局-2)大阪府産業局新事業創造推進チームと連携						
③市町村連携		泉佐野市と田尻町の役所窓口において事業のPRでの連携							
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	160.0%	満足率	95.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	いかにして新しい価値を創り出すかについてのヒントや、「想い」を社会の中で具現化する方法を見つけるためのヒントを得ることができたことで、新たな視点を得ることができ、明日から、いや今からのモチベーションアップに繋がるなど、満足度は高く、各々で抱えられている課題解決に向けて、一歩踏み出す勇気を与えることができた。							
		代表指標	経営の悩みを相談できる仲間をつくることのできた割合						
		数値目標	70%	実績数値	66.7%	目標達成度	95.3%		
	成果の代表事例	お互いに高め合える女性起業家等と交流することができ、新たな覚悟をもって、さらに自分自身を磨いて行こうという決意を抱いた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	交流会と質疑応答の時間を充実させて、よりネットワークの形成効果が収穫として得られるようにしたい。 また時間の制約があるが、個別相談会を当日、実施することも検討する。また乳幼児を抱えてご参加されるケースも考えられるので、急な出来事に対応できるように控室を確保する必要性を感じた。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		クラウドファンディング活用セミナー							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業所の売上が大きく減少した。しかし、コロナ禍の中でも新しい取り組みを実施するために、クラウドファンディングを活用し、新たな商品開発やサービスの提供を行っている会社も多くある。本事業ではクラウドファンディングに関するセミナーを開催し、クラウドファンディングの活用促進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内の中小企業・個人事業所の代表者・事務担当者を対象として、20社を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所において、クラウドファンディングの知識が豊富な専門家を招き、資金調達に悩んでいる事業所に対してクラウドファンディングの活用方法についてレクチャーした。 実施日：令和4年10月19日(水)14時～16時 場所：泉佐野商工会議所2階 第1研修室にて実施 講師：大阪府よろず支援拠点からの派遣 参加人数：7名 【内容】 ・クラウドファンディングとは（クラウドファンディングの概要・種類・メリットとデメリット） ・クラウドファンディングの始め方 ・クラウドファンディングの事例紹介 ・個別相談会【希望者のみ】 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府の協力で企業用メールマガジンでの案内ができた。						
		②広域連携							
③市町村連携		市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。							
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	30.0%	満足率	85.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	資金調達に悩んでいる個人事業主・担当者に対してレクチャーを行い、クラウドファンディングの内容について理解を促すことができた。具体的には、クラウドファンディングの流れや成功例・失敗例のレクチャーを行った。セミナーを開催することでクラウドファンディングの活用促進につながった。							
		代表指標	クラウドファンディングについて理解が深まった事業所の割合						
		数値目標	70%	実績数値	88.5%	目標達成度	126.4%		
	成果の代表事例	資金調達に悩んでいる個人事業主・担当者に対してレクチャーを行い、クラウドファンディングの内容について理解を促すことができた。また、経営上の様々な悩みが発生した場合の無料経営相談窓口として大阪府よろず支援拠点の案内を行った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。今回の講座は、満足している事業所が多く見られた。内容についても分かりやすく、理解が深まった事業所の割合も88.5%だった。参加者について、セミナーの申込は11名だったが、当日に急な欠席者も多かった為、社数は6社に留まった。今後は、開催日の1～3日前に申込者へ参加の確認連絡をし、受講者の増加に取り組んでいく。また、大阪府のメールマガジンの案内が効果的であったと思われるが、申込者の増加のために、郵便やFAXを活用したPRを徹底していく。講座の内容や講師に対しての満足度は高い為、今後も継続して行うことが重要であると思われる。							

泉佐野商工会議所

事業名		魅せる写真撮影セミナー							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの影響によりWebやSNSを中心としたインターネットによる販路開拓が活発化している。企業・個人問わず、インターネット上の情報発信や新規顧客開拓の取り組みは非常に重要であり、特に写真での情報は受け手側に大きな影響をもたらすことになる。 そのため、写真の出来映えは商品やサービスの売上に大きく関わってくる。スマートフォンでの写真撮影であっても被写体への工夫や撮影のコツなどによっては、出来映えをより良くさせることが可能なので、受講者の撮影技術向上を目的に本事業を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町のあらゆる業種の小規模事業者を対象。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	本所4階にて、専門家を招き写真撮影に関するセミナーを2時間30分おこなった。 ・開催日程 2月27日（月） 14:00～16:30 ・開催場所 泉佐野商工会議所 4階さくらホール ・内容 1部 写真の撮影に関するコツ 2部 実技による講義							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携		④相談相乗	
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	8.5	支援実績率	42.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業の広報担当者や個人事業者が技術や基礎知識を習得することにより、広報としての質の向上が見込まれた。 代表指標 習得した知識や技術を広報で活用できると感じた事業所の割合							
		数値目標	50%	実績数値	100.0%	目標達成度	200.0%		
	成果の代表事例	新規事業として焼き鳥屋を開業予定の会社は本セミナーの知識を活かして、メニュー作成の写真代表自身で撮影することを予定している。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナー開催にあたっては年度末の忙しい時期に実施となってしまう、十分な広報を行うことが出来なかった。しかし、セミナーの内容については参加者からは満足な声を頂いており、来年度以降も可能であれば実施したいと考えている。また、実施時期についても早いタイミングで行うように心掛ける。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		就職フェア（合同就職面接会）								
想定する実施期間		H12 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	現下の厳しい雇用情勢の中にあって、これからの成長企業と若年者等の求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得はもとより、地域の雇用促進をはかる。また学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。								
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業所、又は関西国際空港内、りんくうタウンの事業所への参加募集を行う。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和4年11月25日（金）PM1:00～PM4:30 ・会場 関西エアポートワシントンホテル 1F リヴァージュ ・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大生、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。 ②ハローワークコーナー ③労働相談・情報コーナー ④農業コーナー ⑤若年者就労相談・就職者へのPR新聞折込チラシ、近隣商業施設公共施設・掲示板等へのポスター掲示、立て看板								
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞								
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 と連携を行い、労働相談情報コーナーを設置し、求職者への相談に繋いだ。							
②広域連携		熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会・岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。								
③市町村連携	泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。									
④相談相乗	事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	114.3%	満足率	32.5%	
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	ワークフェアに参加頂いた40社の中で、69名の応募があり、15名の採用に繋がった（1月現在）。採用された方々は各事業所でそれぞれ業務に就くことができ、雇用促進の一助とすることができた。また、事業所においても、事業継続に必要な人材を確保することが出来た為、仕事の効率を上げることができた。								
		代表指標	若年者等との面談ができた事業所の割合							
		数値目標	70%	実績数値	35.0%	目標達成度	50.0%			
	成果の代表事例	泉佐野市で事業を営んでいるA社は本事業の参加により、当日は4人の方と面接を行い、1人の採用に繋がったとのこと。大卒求人を行っていたが、採用者が予定人数に達したため、求人を取り下げることになった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	120	目標値(実績)	74	目標達成度	61.7%				
	求職者数									
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	本年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかった。募集・開催においても常に感染防止の対策を取る必要性があった為、難しい開催にはなったが、幸いなことに感染者が出ることもなく、無事に開催することができ、雇用促進へ繋がったと感じる。今後とも採用意欲のある事業所に参加して頂き、多くの求人の方々が、雇用して頂けるよう継続して取り組んでいきたい。								

泉佐野商工会議所

事業名		IT活用販路開拓支援事業							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	あらゆる業種においてITの活用は導入効果が期待できるが、ツールや手法が多数存在するため、導入にあたっての敷居が高くなっている状況である。本事業ではWeb・SNS等を用いて販路開拓に取り組む前向きな中小企業を掘り起こし、講座形式で支援を行った。本年度も新型コロナウイルス影響が見込まれていたため、Web・SNSを用いての販路開拓を重視した講座を行った。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町・岸和田市・貝塚市のあらゆる業種の小規模事業者を対象。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>本所4階&オンラインにて、専門家を招きGoogleビジネスプロフィール&SNS活用セミナーを2時間おこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日程 3月6日(月) 14:00～16:00 開催場所 泉佐野商工会議所 4階さくらホール&オンライン (Google meets) 内容 Googleビジネスプロフィールとは？ ビジネスプロフィールの使い方 ビジネスプロフィールの写真投稿のコツ 口コミを活用しよう イベント告知で常に情報発信 SNSの有効な活用方法 							
	<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携								
	②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて、会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開。							
③市町村連携	市役所・町役場及び市・町報版(会議所ニュース)を通じて幅広く周知した。								
④相談相乗	個別の相談には繋がらなかった。								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	17.5	支援実績率	87.5%	満足率	83.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業の広報担当者や個人事業者が技術や基礎知識を習得することにより、広報としての質の向上が見込まれた。							
	代表指標	ITを用いた販路開拓の方法について理解が深まった事業所の割合							
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	本セミナーを受講したある事業所は早速、自身のビジネスプロフィールの作成と運用を行い、1週間で利用者からの評価を頂いていた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナー開催にあたっては年度末の忙しい時期に実施となってしまう、十分な広報を行うことが出来なかった。しかし、セミナーの内容については参加者からは満足な声を頂いており、来年度以降も可能であれば実施したいと考えている。また、実施時期についても早いタイミングで行うように心掛ける。							

泉佐野商工会議所

事業名		障がい者雇用に関するセミナー							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者雇用における民間企業の法定雇用率が、令和3年3月1日以降さらに引き上げられることで制度の対象となる事業主の範囲が、従業員 43.5 人以上に広がることや少子高齢化社会において人材不足が予測されていることに伴い、障がい者雇用に取り組もうとする中小企業に対して、積極的な雇用の拡大の一助になることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の事業所に募集をはかり、業種は特定しない。 また、法定雇用率制度の対象事業所のみならず、関心のある事業所を幅広く支援対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ●開催日時：令和5年2月9日（木）14：00～16：00 ●内容： <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用率制度、障がい者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・事例紹介（1社） ●場所：泉佐野商工会議所 2階 第1研修室+オンライン ●講師：大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課より ●事例紹介事業所：運輸関係事業所 ●参加対象：経営者、人事担当者 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行った。 							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の協力で、制度概要など細かに伝えることが出来た。また、周知協力を通じて幅広い周知が出来た。						
		②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。						
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	60.0%	満足度	66.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	講座を通じて、障がい者雇用に取り組む際に、頼る機関や利用できる制度、採用ルートなど事例紹介等でより具体的に伝えることが出来た。それにより取組意識が向上した。							
		代表指標	障がい者雇用に対して取組み意識が向上した割合						
		数値目標	70%	実績数値	77.8%	目標達成度	111.1%		
	成果の代表事例	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の担当者より障がい者雇用の基本・制度紹介について分かりやすくレクチャーして頂くことが出来た。また、障がい者雇用についての相談窓口である、大阪府障がい者雇用促進センターの案内を行った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。今回の講座は、満足している事業所が多く見られた。しかし、当日の参加者についてはオンライン受講を含めて9名だった。その為、今後はセミナーの周知手段や案内方法についても検討していきたい。企業が抱える課題や問題点を広く掘り起こし、参加しやすい時期、時間を設定することにより、計画数を達成する。							

泉佐野商工会議所

事業名		BCP普及啓発セミナー	
想定する実施期間		H 26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 新型コロナウイルスが猛威を振るい、多くの企業の事業継続に大きな影響をもたらした。当地域では、今後南海トラフ大地震などの大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている。平時より緊急時の事業継続のための方法等を取り決めておくことが必要である。そこでBCPの策定や防災対策の重要性や必要性を学ぶことで、BCPの作成・整備がすすむ。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・貝塚市・熊取町・阪南市の広報連携にて実施。各市域のすべての事業所のうち、BCPについて知識や関心はあるが、策定には至っていない企業、BCPを策定する必要性は感じているが手順がわからない企業等を対象とした。20社（泉佐野7社・貝塚7社・熊取3社・阪南3社）を想定。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時 令和4年9月27日（火）PM 2:00～4:00 場 所 泉佐野商工会議所 研修室 東京海上日動火災保険㈱より講師を招き、「BCP普及啓発セミナー」とのタイトルで開催。大阪府施策連携、広域連携（幹事：泉佐野・貝塚商工会議所、熊取町商工会・阪南市商工会）にて実施。内容としては、事前の危機管理（リスクを知る・・・ハザードマップ、防災計画、被害想定等）資金繰り対策、事業を継続する力を強くする視点、危機管理のPDCAサイクル、感染症対策特有のリスクと対処法等の講義を行った。また自然災害による企業の対応状況、BCPの策定状況の推移を踏まえて、その課題分析についてや全ての企業が直面するサイバーリスク対策について攻撃の動向や対策例について講義を行った。また大阪府が推奨する超簡易版BC「これだけは！」シートや中小企業向け主なBCP施策、災害等緊急時の備えとして、電気自動車・燃料電池自動車の活用、サイバーセキュリティお助け隊サービス等、紹介を行った。	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	大阪府の経営革新グループと連携（商工NO.12「BCP/BCMの普及促進」）
	②広域連携	当所幹事、近隣の貝塚・熊取・阪南との広域連携事業として実施し、各所の会報やHPを通じて幅広く周知した。	
	③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業を周知した。	
	④相談相乗	フォローアップ体制を整えた。	

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	13.0	支援実績率	65.0%	満足率	92.3%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援企業の内訳は、泉佐野5社・貝塚2社・熊取2社・阪南4社であった。受講者アンケートでは、今回のセミナーを受講した満足度は高かった。セミナー参加後の今後の取組みについては、「当社では策定できていないため、これをきっかけにしたい」という回答が、84%あり、受講者に対して、一定の動機づけができたと思われる。また取り組むにあたっての全体像が見えてきたので、今後の本格的な取組に役立てる一助になった。</p>							
	代表指標	事業継続力強化計画等を策定した事業所数							
	数値目標	20社	実績数値	13社	目標達成度	65.0%			
	成果の代表事例	<p>参加者は、BCPへの取組を、まだされていない事業所がほとんどであったが、今回のセミナーを受けられて、これからの取組のきっかけにしたい、という事業所が増え、BCPへの期待度も上がった。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>・参加頂いた方の満足度は高く、BCP作成に向けての動機づけに結びつき、とても勉強になったという声を頂く中で、情報量が多いという声もあり、次期以降では、もっとじっくりと策定を行えるようにカリキュラムを検討する必要がある。同時に、セミナー参加者を地道に増やしていきたい。参加された方は、BCPの重要性を十分に認識されていることから、日頃より情報発信を定期的に行う事で、さらなる取組み意識を高めていく。また日々の巡回を通じて、情報提供を継続することで、掘り起こしを広げる。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT化とネットワーク化で機械に仕事を奪われ、激化するグローバル競争と海外への業務アウトソースによってビジネス環境は大きく変化している。日本企業においても社員の専門性やスキルを高め、差別化商品や自社だけのサービスを生み出すことが可能な人材を育成しなければ、生き残れない時代となっている。また、人材育成は経営戦略の要として人事部だけの仕事ではなく組織的に取り組むべき最重要課題であると考えられる。そこで若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行なうにあたって必要なスキルを習得し、企業としての組織基盤の強化につなげていくことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で勤務する全従業員を対象として、24社（泉佐野：12社、岸和田：6社、貝塚：6社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：2023年2月14日（火）13:30～16:30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：～わかりやすく話す・伝える・教える技術！～コミュニケーション力アップセミナー 講師：株式会社ミライフ経営総研 1. コミュニケーション力とは ①コミュニケーション力とは ②なぜコミュニケーション力が必要なのか 2. 一瞬で決まる！あなたの第一印象 ①第一印象は先手必勝 3. 「聴き方」の極意 ①ノンバーバル情報の活用 ②会話を促進させる傾聴技法 4. 伝わる「話し方」 ①話し方5つのポイント ②相手に伝わるアサーションのコツ ③会話の基本はキャッチボール <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開						
		③市町村連携	各市町村の関係窓口での開催案内の周知						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	95.8%	満足率	93.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	日々の業務を行なうにあたり、本セミナーを通じて、会社内での同僚や上司との業務連絡や日常会話、お客様との接し方も含めて、円滑なコミュニケーションを築くことができ、従業員の職場定着・離職防止になり組織基盤の強化につながった。							
		代表指標	ビジネスコミュニケーション能力が向上したと感じる企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	84.4%	目標達成度	120.6%		
	成果の代表事例	本セミナーを受講して、今後若手社員の育成・定着について取り組みをしたい（検討したい）、これまでの取り組み内容を再検討したいとの意見をいただくことができた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケートの「日頃、仕事を進めていく上で、抱えている課題」の自由記述では、「意思疎通の取り方」「お客様に分かりやすく説明できるようになること」「お客様の要望を引き出すこと、提案力」との意見をいただいた。こうした意見を参考に今後の事業に活かしていきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		ハラスメント防止対策セミナー							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	令和2年に大手企業を対象にパワハラ防止法が施行された。今までは努力義務であった中小事業主も令和4年4月から義務化される。しかし、中小事業主は新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、パワハラ防止法があることを知らない方も見受けられる。本事業ではハラスメント防止対策に関するセミナーを開催し、ハラスメント行為について注意を促す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内および広域連携(岸和田・貝塚)管内の中小企業・個人事業所の経営者・総務担当者を対象として、20社を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所において、ハラスメント防止対策について詳しい専門家を招き、どのように対応すれば良いか分からない事業所に対してハラスメント防止対策をレクチャーした。							
		実施日：令和4年11月2日(水)14時～16時 場所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホールにて実施 講師：社会保険労務士 (大阪働き方改革推進支援・賃金相談センターより派遣) 参加人数：16名(補助金対象9社15名)							
		【内容】 ・職場のパワーハラスメント防止対策について ・ハラスメント防止に向けた手順 ・対策を怠った場合のリスクについて ・その他(大阪府・労働相談センターのご紹介)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府の協力で企業用メールマガジンでの案内ができた。 大阪府労働環境課と連携。							
	②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。							
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	11.5	支援実績率	57.5%	満足率	93.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ハラスメント防止対策について悩んでいる個人事業主・総務担当者に対してレクチャーを行い、ハラスメント防止対策の内容について理解を促すことができた。具体的には、ハラスメント防止に向けた手順や対策を怠った場合のリスクについて実際の出来事を例にレクチャーを行った。セミナーを開催することでハラスメント行為について注意を促すことができた。							
		代表指標	ハラスメント防止対策について理解が深まった事業所の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	ハラスメント防止対策について悩んでいる個人事業主・総務担当者に対してレクチャーを行い、ハラスメント防止対策の内容について理解を促すことができた。また、働く上で発生するトラブルの対応窓口として大阪府労働相談センターの案内を行った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。今回の講座は、満足している事業所が多く見られた。内容についても分かりやすく、理解が深まった事業所の割合も85.3%だった。当日の参加者については15名だったが、同じ会社からの申込も多く、総支援企業数は11.5社に留まった。周知に関して、大阪府のメールマガジンの案内が効果的であったと思われるが、申込者の増加のために、郵便やFAXを活用したPRを徹底していく。また、講座の内容や講師に対しての満足度は高い為、今後も継続して行うことが重要であると思われる。							